



らなる中間報告をまとめ

技能者の働き方が適

ら社会保険加入対策を推 な競争環境整備の観点か 負担する企業による健全 善や法定福利費を適正に

人親方の処遇改善策か

規制逃れを目的とし

同省は技能者の処遇改

業界関係者らで中間報告

和田均全国管工事業協同

会専務理事兼事務局長、

八建設産業専門団体連合

には柳澤庄一一般社団法

| 合同庁舎三号館第一会議 室で第四回 「建設業の一

蟹澤座長

東京・霞が関の中央

検討会規制逃れの国交省規制

旦 国土交通省は三月九

人親方問題に関する検討

| 正なものか確認する自己 診断チェックリストなど

働き方チェックリスト活用

福利費などの労働関係諸 進している。しかし法定

能者も見受けられる。

人親方化や偽装請負の一

人親方として従事する技

や業界関係者などで構成

このため同省は学識者

する検討会を設置。委員

浦工業大学教授)を開

れる。改正法では旅客施 の移動等の円滑化の促進 に関する法律)が改正さ -法(高齢者、障害者等

真鍋課長 の遵守義務を課すことに などを新設する場合の適 している。このため同検 方法に関するソフト基準 役務(サービス)の提供 備のあり方などを示した 討会では旅客施設・車両 アフリー基準(公共交通 合義務を定めた交通バリ

ライン(公共交通機関の ド対策に加えてソフト対 が全面施行されることを 長が冒頭あいさつに立ち 英樹同省安心生活政策課 心な議論に心から感謝し 「皆さまのこれまでの熱 当日の検討会では真鍋

昨年五月にバリアフリ | 準への適合義務に加え、 いで音による情報提供 めてきた。 ドライン)の見直しを進 る移動等円滑化整備ガイ 旅客施設・車両等に関す

新ガイドラインの第

用にあたって(ガイドラ ②移動等円滑化整備の基 ガイドラインの位置づ 化整備ガイドラインの活 考え方」は①移動等円滑 の活用と整備の基本的な 円滑化整備ガイドライン 務の提供に関する移動等 の旅客施設・車両等・役 部となる「公共交通機関

一っている。車両について 存の旅客施設・車両とな

いきたい」と述べ、

一層

策もしっかりと実行して

視)、車いす利用者など 齢者やロービジョン(弱 やすく提供する。また高 やトイレの構造に関する を確保する。 情報を音によってわかり は視覚障害者などを対象 に通行できるよう照明設 に男子用・女子用の区別 トイレの出入口付近で

機関バ IJ 整備

ライン(役務編)を作成。トイレについては高齢者・障害者などが円滑に利用できるよう出入口 機構教授)を開催した。改正バリアフリー法の四月施行に向けて新たにバリアフリー整備ガイド

付近における音での情報提供や照明設備の設置による照度の確保などを明記した。

四回「公共交通機関のバリアフリー基準等に関する検討会」(座長・秋山哲男中央大学研究開発 国土交通省は三月十日、東京・霞が関の中央合同庁舎三号館総合政策局局議室で令和二年度第 発 行 所 (株)日本設備工業新聞社 東京都渋谷区桜丘町10-13 〒150-0031 野元第1ピル 電 話 (03) 3496-4774代 FAX (03) 3464-1884 info@setubikougyo.co.jp 年極8,800円(税·送料込)

方(移動経路確保、旅客

務の提供の具体的な考え 施設配置・情報提供・役

設備配置、情報提供、 施設と車両における施設

役務の提供)④移動等円

両とハード基準適合努力

いる新設の旅客施設・車

準適合義務が課せられて ト基準の対象はハード基 策を説明している。ソフ と車両に分けてソフト対

あしたを、 ちがう 「まいにち」に。

環境づくり、一体的・統

で構成。また第六部の

イドライン」は旅客施設

本的な考え方(移動等円

フリー設備・ウェブサイ

は鉄軌道、

など

航空機に分類 バス、タクシ

TOTO

改正法4月施行へ国交省検討会が意見交換

共有したい」と述べ、円 なご意見を踏まえて本日 手に業界を託すにはクリ 滑な審議を求めた。また 職し、適正に働けるよう する。若者が安心して入 業界のあるべき方向性を 蟹澤座長が「未来の担い は中間とりまとめを提示 が適切でないケースの周 支払い④雇用契約を締結 締結・適切な請負代金の 組み③適正な請負契約の だろう」と強調した。 すべきケースや契約内容 方が適正か確認する取り イン改訂②技能者の働き 険加入下請指導ガイドラ 中間報告では①社会保

形綱の形状に応じてお選びください

め、機能分散の観点から 使えない場合があるた して車いす利用者などが については利用者が集中 造にする。多機能トイレ

A10256 エイム

傾斜対応タイプ

A10258 エイムS型

軽量固定タイプ

ることも可能だ。

ある便房、乳幼児連れ用

設備のある便房などを一

いす使用者用簡易型便

房、オストメイト設備の

車

【 A10257 エイム本体N型

い場所に配置し、すべて 車両でもアクセスしやす ちトイレは旅客施設でも

の利用者が使いやすい構



固定タイプ



複合傾斜対応タイプ









有色クロメートメッキ こちらの仕上げも 溶融亜鉛メッキ ございます

はさみ込むだけで吊棒が下げられ

- ステンレス(SUS 304)

RoHS対応

配管支持金具の



☎03-3552-7331(大代表) 2003-3552-1877(代表) ホームページ:http://www.akagi-nt.co.jp/ 本社 東京・事業所 代理店 全国主要都市